

# うしくでびっくり!

おくのふれあいまっりのまきNO34



おくの地区社協  
飯田昭夫

あるあきのひのこと。なっ  
ちゃんが、おかあさんとさん  
ぽしているときのことだっ  
た。

ちょうどおくのしょうがい  
がくしゅうせんた一まえをと  
おったときのこと。ひとく  
るまが、たくさんあつまって  
いた。

びっくり！

おかあさんにきいてみると  
「きょうは、おくのふれあい  
まつりなのよ」  
と おしえてくれた。



## これが、プログラムだ

### 第2回 おくのふれあいまつり

11/23 おくのふれあいまつり

| 開始予定時間              | 内 容                        | 司会/担当 | 会場      |
|---------------------|----------------------------|-------|---------|
| 10:00～              | 開会の挨拶                      | 会長    | センター前広場 |
| 10:00～<br>※終了 15:00 | 開会挨拶終了後<br>各コーナー（お店、遊び等）開始 | 各担当   | 施設内外    |
| 10:30～              | 奥野さくらふれあい保育園発表             | 横田    | センター前広場 |
| 11:00～11:20         | 祝賀セレモニー                    | 横田    | センター前広場 |
| 11:20頃～             | ガマの油売り口上                   | 司会    | センター前広場 |
| 11:40頃～             | シルバーリハビリ体操                 | 北條    | センター前広場 |
| 11:30頃～             | 白百合会 大正琴演奏                 | 司会    | 大研修室    |
| 11:30～12:30         | 奥野カルタ                      | 鈴木    | 多目的室    |
| 12:30～              | 抽選会開始                      | 横田    | センター前広場 |
| 12:30～              | 「奥野の歴史」講師：坂弘毅氏             | 奥野    | 和室      |
| 13:00頃～             | おくの養育教育学校吹奏楽部演奏            | 安島先生  | 大研修室    |
| 13:00～              | シルバーリハビリ体操                 | 北條    | 多目的室    |
| 14:00～              | 「うしくでびっくり」絵本読み聞かせ          | 奥野    | 和室      |

※ 時間、会場は変更になる場合があります。駐車場の入り口通行止め



「あ！えほんのよみきかせがあるわ。きいてみようか？」

こうして、なっちゃん。よみきかせにいくことにした。しばらく、かいじょうで、あそんだあと、**わしつ**にいった。せんせいをみて、びっくり！**あきおさん**だった。

「よくきたね」

きづいて えがおで、むかえてくれた。

じかんになったので、さっそく、よみきかせになった。

しかいのながぬまさんから  
しょうかいがあったあとあき  
おさんのよみきかせが、はじ  
まった。

「どうして『うしくでびっくり！』  
<sup>えほん</sup>絵本をつくったの？ときかれます。  
それはね・・・。

おくの地区のお  
とうさん・おかあ  
さん・おじいちゃん・おばあちゃん  
が、子や孫に絵本  
をよんできかせる  
ためにつくったん  
だよ。



ん~そうなんだ



あれあれ、これはおもしろそうと、なぜなぜくんが、  
もりからあそびにきたよ。どこかな？



## 2 どん<sup>え</sup>な絵<sup>ほん</sup>本があるの？

では、まず1 ころから3 2 ころまでのタイ  
トルめいとちくめいをしょうかいしようね。

| NO | タイトル              | 地区          |
|----|-------------------|-------------|
| 1  | りんごのまき            | 島田：長沼りんご園   |
| 2  | やまゆりのまき           | 島田：奥野の森     |
| 3  | ごんごろうのまき          | 島田・桂        |
| 4  | おさかじょうのまき         | 小坂：小坂城      |
| 5  | こみんかかふえのまき        | 島田：古民家      |
| 6  | やまいちみそのまき         | 島田：ヤマイチ味噌   |
| 7  | さつまいものまき          | 島田：社協園場     |
| 8  | ほたるのまき            | 島田：古民家      |
| 9  | さくらのめいしょ          | 奥原：奥原工場団地道路 |
| 10 | せきやどりょうだいかんしょのまき  | 久野          |
| 11 | かまくらかいどうのまき       | 島田・小坂・小坂団地  |
| 12 | おのがわのまき           | 小坂・島田       |
| 13 | おとがわのまき           | 井ノ岡・島田      |
| 14 | おさかソフトボールたいかい     | 小坂          |
| 15 | かんのんじ             | 久野          |
| 16 | 続せきやどりょうだいかんしょのまき | 久野          |
| 17 | 続りんごのまき           | 島田：長沼りんご園   |
| 18 | くのじょうのまき          | 久野          |
| 19 | 続かまくらかいどうのまき      | 島田・小坂・小坂団地  |
| 20 | 続おさかじょうのまき        | 小坂          |
| 21 | 続ごんごろうのまき         | 島田・桂        |
| 22 | しらはたやまのまき         | 島田・久野・桂     |
| 23 | りんごのはなのまき         | 島田：長沼りんご園   |

|    |                     |           |
|----|---------------------|-----------|
| 24 | おいしいりんごのまき          | 島田：長沼りんご園 |
| 25 | 続こみんかかふえのまき         | 島田：古民家    |
| 26 | こふんのまき(ししみづか・いなりづか) | 報徳・井ノ岡    |
| 27 | うばかみいせきのまき          | 奥原        |
| 28 | 続うばかみいせきのまき         | 奥原        |
| 29 | 続やまゆりのまき            | 島田：奥野の森   |
| 30 | おくのぎょうせいくのまき        | 奥野12行政区   |
| 31 | おくののせんごくじだい         | 小坂・久野     |
| 32 | りんごがりのまき            | 島田：長沼りんご園 |

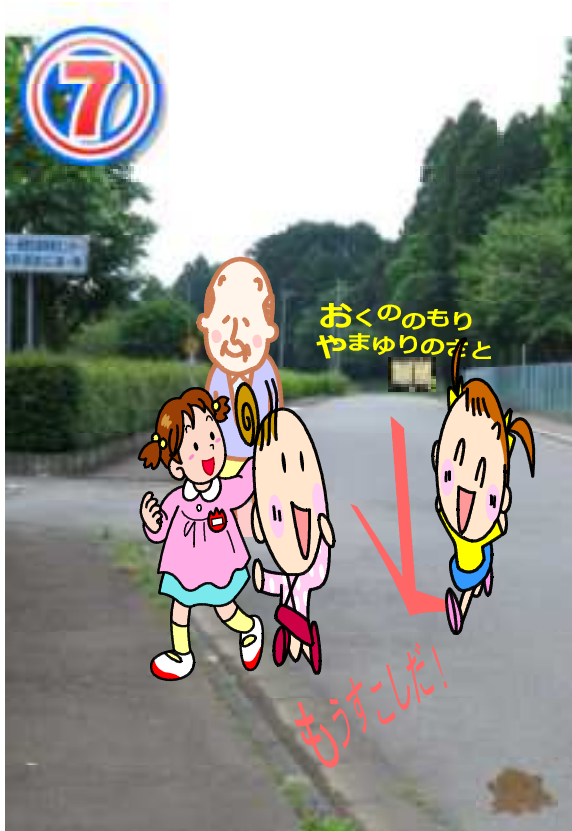
次の地図に番号とタイトルをいれてみたよ。



ここでは、「NO 11 かまくらかいどうの  
まき」をよんでみるね。この本は、アマゾンや  
楽天ブックでも買えるよ。 資料①









このみちは、  
かまくらから  
いしおかまで  
つづいてい  
る。資料③(①  
～⑦) ぜんこ  
くで3つある  
なかのしもつ  
みちとよばれ  
ているんだ。

※かまくらかいどうは、  
ぐんようどうろ  
軍用道路では？

ここで

# もんだい

- ① このみちを ごんごろ  
うが、とおった。👉は一い
- ② このみちを みなもと  
のよりともが、とおった。  
しーん・・・

③ このみちを **きたばた**  
**けちかふさ**が、とおった。  
 しーん・・・

④ このみちを **うえすぎけ**  
**んしん**が、とおった。  
 しーん・・・

こたえは、

**ぜんぶ、せいはい**

1のこたえ—<sup>ごん ごろうでんせつ</sup>権五郎伝説



① たたか 戦いのあった場所 ばしよ



② あかきか 赤坂



③ おみたらしの池 いけ



④ や ね ふ どのせん 矢の根不動尊



⑤ うつつ坂 ざか



⑥ ごん ごろう はか 権五郎のお墓



## 2のこたえ

2 みなもとのよりともが、へいけがたの さたけしをしたがえるために とおったんだ。

びっくり!



## 3のこたえ

3 きたばたけちかふさはね。おだしをたよって、いくときに とおったんだ。

びっくり!

はじめは、じんぐうじじょうに

東条氏

(いなしきし)

でも、まけて

東条氏

あばさきじょうに

(いなしきし)

また、まけて

かまくらいどう

↓を とおって

小田氏

おだじょうに

(つくばし)

いったんだ。

いぬい  
じんぐうじじょうを  
かいたんだよ

## 4のこたえ

4 うえすぎけんしんは、ほうじょうがたの おだしをたおすために、とおったんだ。



びっくり!



歴史トラベルより



ねんごろ かすがやま にん  
1560年頃、春日山を8千人  
で、おだわら  
で出て、小田原には11万人にな  
って攻めた。ほぼ かんとう どういつ  
て攻めた。ほぼ 関東を統一。

だいしようぐん あしかがよしみつ ねん  
3代将軍「足利義満」が1392年  
なんぼくちよう どういつ  
南北朝を統一

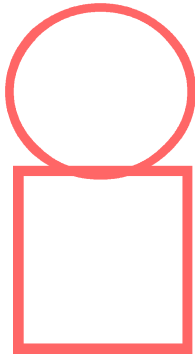
そして、<sup>さいご</sup>最後まで読み終えたよ。ここからは、<sup>かんじ</sup>漢字がたくさん出てくるよ。

#### 4、絵本の一部紹介「<sup>ごう</sup>26号 <sup>し し こ ふん</sup>獅子見塚古墳」(<sup>ほうとく</sup>報徳)

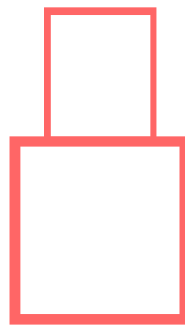


<sup>こめづく</sup>米作りが<sup>さか</sup>盛んになると、<sup>ゆた</sup>豊かな<sup>むら</sup>むらと、<sup>まずしい</sup>まずしい<sup>むら</sup>むらがうまれ、  
<sup>ちいさな</sup>ちいさな<sup>くに</sup>国になったんじゃ。その<sup>おうさま</sup>王様こそ、この古墳の<sup>こふん</sup>主なんだ。

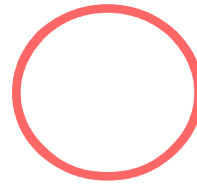
※ここでクイズ：<sup>いちばん</sup>一番身分の<sup>みぶん</sup>高い古墳はどれかな？



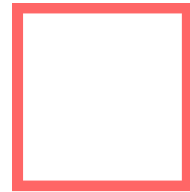
ぜんぼうこうえんふん  
前方後円墳



ぜんぼうこうほうふん  
前方後方墳



えんぶん  
円墳



ほうふん  
方墳

※<sup>いなりづか</sup>稲荷塚古墳群 (<sup>い おか</sup>井ノ岡)

<sup>ぺんやく</sup>1辺約 <sup>たか</sup>15m・<sup>やく</sup>高さ約 <sup>ほうふん</sup>2m の方墳

この他にも近くに古墳があるよ。



27・28号

「姥神遺跡」(奥原)

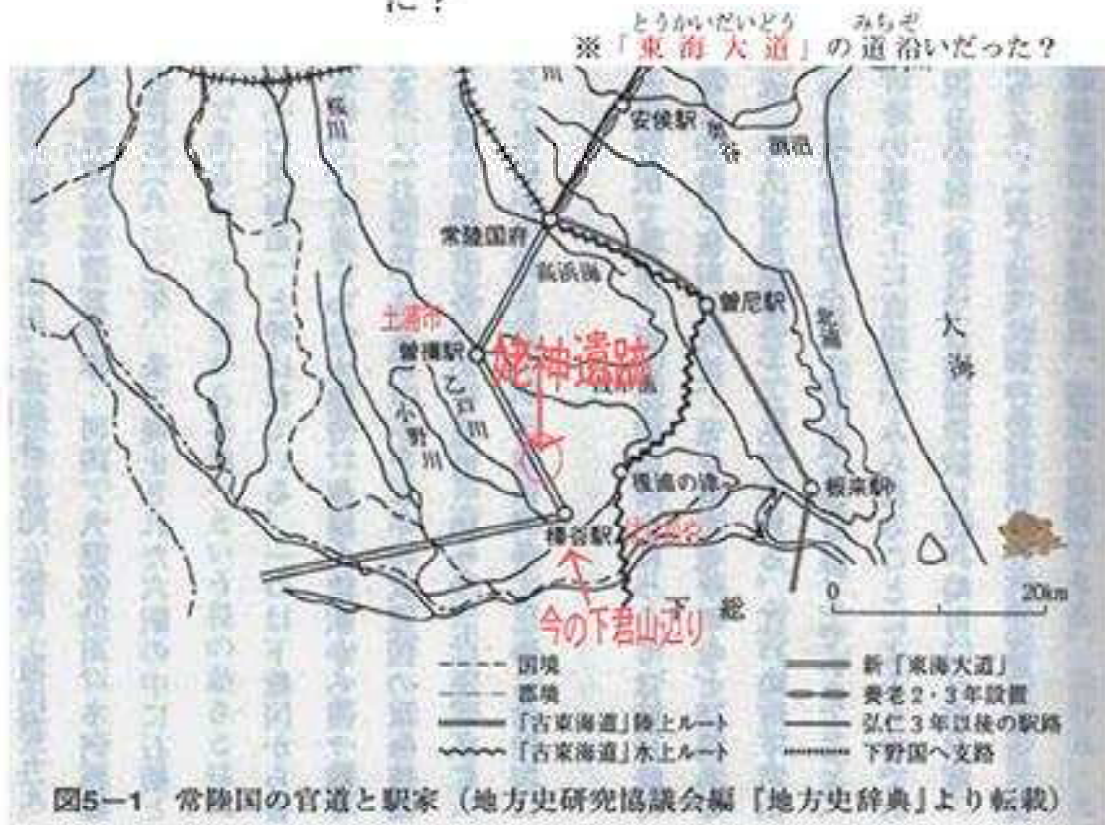


この時代の  
壺 (底がな  
いんだ)

灰釉宝珠硯  
(牛久郷土  
カルタより)



このいせきに弥生時代から平安時代ま  
で、さかえつづけた集落が、みつかった  
んだ。ここでは、竪穴式住居、156ヶ  
ん、高床式倉庫3棟などもみつかったんだ。  
竪穴式住居は、地面を掘って、半地下  
にすることで、部屋の温度を一定に保つこ  
とができたんだ。でも、どうしてこの地域  
に？



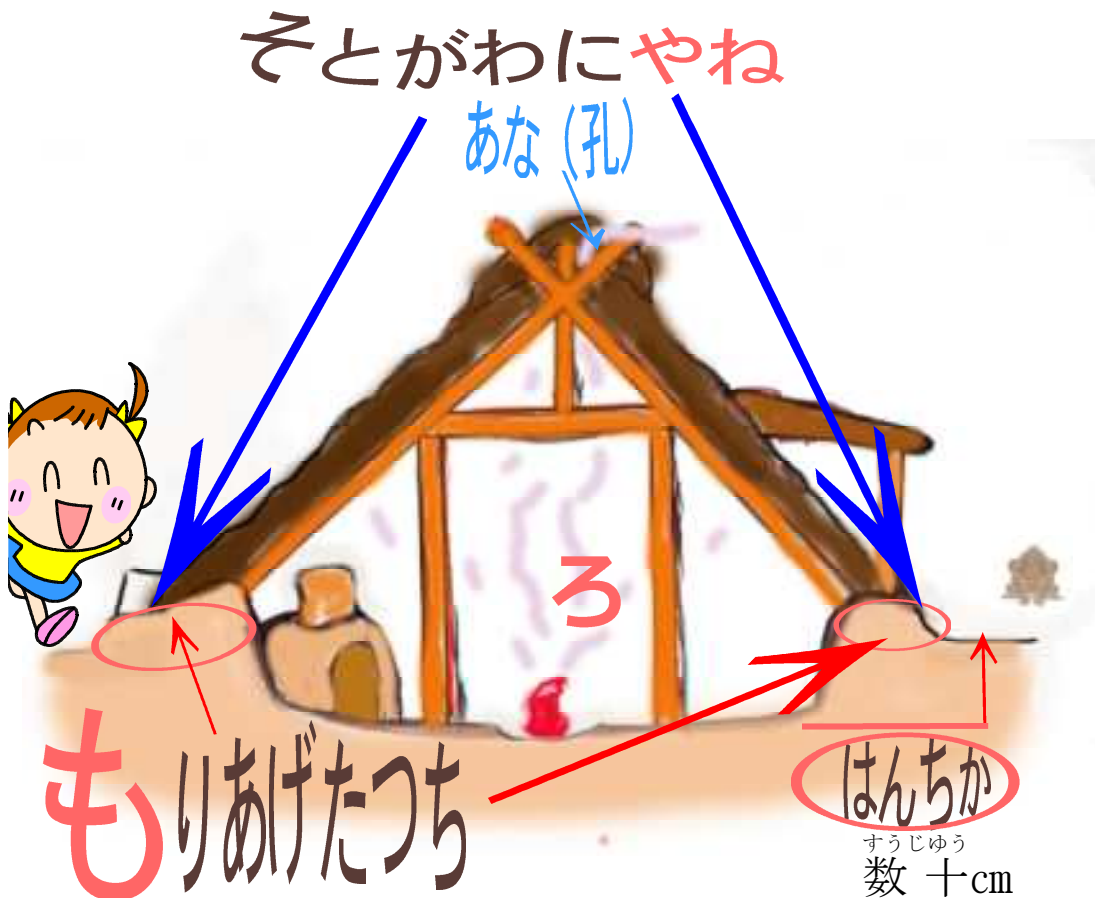
たてあなしきじゅうきよ

## 竪穴式住居

秘密その① <sup>ひみつ</sup>じめんをほって、<sup>はんちか</sup>半地下にした。そうすることで、へやの<sup>おんど</sup>温度をいっていにたもつことができたんだ。だから、さむいところでは、たてあなが2mいじょうのところもあったんだ。(うばがみいせきでは、<sup>すうじゅう</sup>数十cmだよ)ということは、<sup>なつ</sup>なつは、<sup>すず</sup>すずしくて、<sup>ふゆ</sup>ふゆは、あたかいの？



# そのとおり！



ひ みつ 秘密その② たてあなしきじゆうきよ かわ ちか  
くにつくった。半地下だと、雨水や川の  
みず はい こ  
の水が、入り込んでしまうんじゃないの？

う え ず み も あ つち そと  
上の図を見て、盛り上げた土の外  
がわ や ね  
側に屋根がくるようになっているんだよ。考えたね。

ひ みつ 秘密その③ それだけじゃないんだ。  
かべが つち だから、なつは、す  
ずしく、ふゆは、ねつが、にげない  
からあったかいんだよ。

それから、そと  
の き おん  
の気温にあまりえ  
いきようされない  
んだ。

くぎ 1 ぽんもつ  
かわず、どうくみ  
たてたのかな？



#### <sup>ひ みつ</sup>秘密その④

「**き**をつちにうめたら、くさっちゃ  
うよ？」たしかに。どうしたのか  
しらべてみた。

うめるぶぶんをすこし**や**いて、く  
さりにくくしたんだってよ。

そして、いえのなかには、**ろ**があ  
って、けむりをのがす**あな**（孔）が  
あったんだ。

だから、へやのなかに**けむり**をま  
わし、**いぶす**ことで、くさることを  
ふせいだり、むしよけにもなったり  
したんだって。

びっくり!

<sup>ひ みつ</sup>  
秘密その⑥

「たてあなしきじゅうきよって、どのくらいもったの？」

きやつちをつかったので20ねんくらいかな。つかわれたきは、くりのきが、おおかったんだよ。

え! どうして?

それはね。①くりのきは、せいちょうが、はやいんだ。

②みがなれば、たべられる。

③いしおのでも、きれるかたさなんだよ。

びっくり!

「そうか、だからくりのきなのか」

2・29号 「やまゆり」 (島田)

「どうして、種じゃなくて、球根をうえるの？」  
「種あるのかな？」

調べてみると種から育てようとすると花が咲く  
まで約5年かかるんだよ。



種から開花まで5年



(やまゆりの里の花)

※「立てば芍薬、座れば牡丹、歩く姿は百合の花」これは美人を形容する言葉。

※万葉集の常陸国の防人の歌

筑波嶺のさ百合の花の夜床にも愛しけ妹ぞ昼も愛しけ

(意味：筑波の山の百合のようなきれいな妻を夜も昼もいとおいしい。)

やまゆりは昔から親しまれてきた日本固有の花なんだよ！

ここには、6月～7月頃まで、たくさんの人が、訪れているよ。

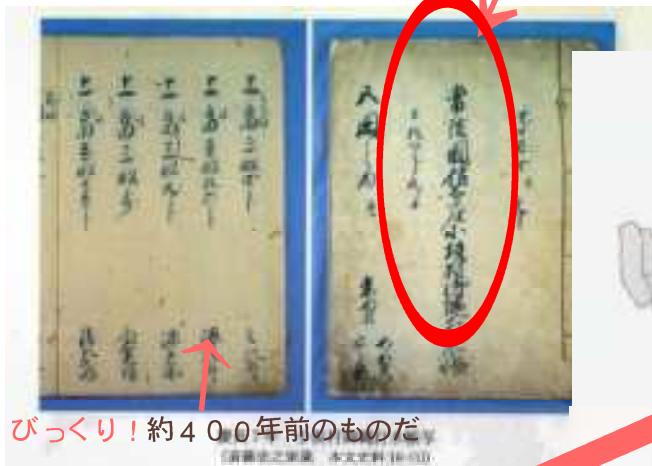


ごう ぎようせい く  
30号 「行政区」



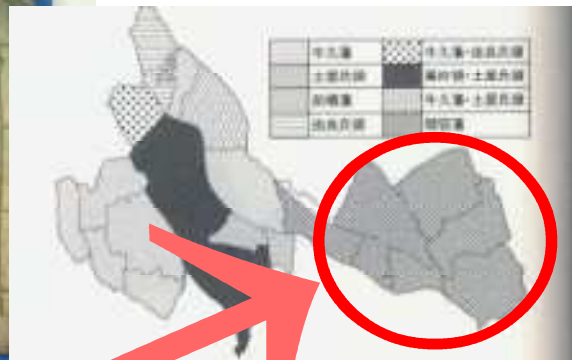
たと おさかち く  
例えば ①小坂地区  
ひようし ち ず ばん  
(表紙地図53番)

おさかち く おさかそん  
小坂地区は、むかし小坂村とい  
ねん けん ち ちよう ひたち  
つて1602年の検地帳に「常陸  
のくにしだのしょう おさかむらおなわうちみす  
国信太庄小坂村御縄打水  
ちよう さいとう けぶんしよ  
帳」(斉藤家文書)にあるの  
えど じ だい せん  
で、江戸時代からあった村なんだ。



びっくり！約400年前のものだ

『前編』本文史料(10-11)



えど じ だい おくの せきやどはん  
江戸時代、奥野は、関宿藩  
とびち  
の飛地

めいじ ねんちようそんせい  
明治22年 町村制により  
おくの そん たんじよう  
奥野村の誕生



ち く ぎようせい く した しりよう しょう わ ねん あたら ほう  
地区行政区の下の資料の昭和30年に新しく「報  
とく ぎようせい く しょう ほうとく しら  
徳」行政区がでてきた。なぜ、報徳というのか調べて  
みた。すると牛久市史に雲国寺の住職が、明治時代  
につけた名前である」とあった。しかし、どうして、  
その名前にしたかは、記載されていなかった。二宮金  
な まえ きの さい への みやきん  
次郎の「徳に報いるために働く」からきているのかな？

第一章 牛久市の境界、町域界の表裏

表1-2 行政区の変遷

| 大字   | 大正3年の行政区 | 昭和19年の行政区 | 昭和30年の行政区 | 備考              |
|------|----------|-----------|-----------|-----------------|
| 遠山   | (遠山)     | (遠山)      | 海部        | 大字遠山と大字城中の大会である |
| 城中   | (城中)     | (城中)      | 城中        |                 |
| 新地   | (新地)     | (新地)      | 新地        |                 |
| 牛久   | (上野)     | (上野)      | 上野        |                 |
|      | (下野)     | (下野)      | 下野        |                 |
|      |          |           | 本町        |                 |
| 田宮   | (田宮)     | (田宮)      | 田宮        |                 |
| 横手   | 第2区      | 第2区       | 横手        |                 |
|      |          |           | 一原        |                 |
| 東福穴  | 第3区      | 第3区       | 東福穴       |                 |
| 東大和田 | 第4区      | 第4区       | 大中        |                 |
| 中根   |          |           | 大中正部      |                 |
| 下根   | 第5区      | 第5区       | 下根        |                 |
| 岡見   | 第6区      | 第6区       | 岡見上       |                 |
|      |          |           | 岡見下       |                 |
| 船田   | 第1区      | 第1区       | 上船田       |                 |
|      |          |           | 中船田       |                 |
|      |          |           | 下船田       |                 |
|      |          |           | 成美        |                 |
|      |          |           | 神谷        |                 |
|      | 第8区      | 第8区       | 成化        |                 |
| 結東   | 第7区      | 第7区       | 上太田       |                 |
| 小坂   | (小坂)     | (小坂)      | 小坂        | 小坂団地 向原         |
| 正直   | (正直)     | (正直)      | 正直        |                 |
| 久野   | (久野)     | (久野)      | 久野        |                 |
|      |          | (大船田)     | 大船田       |                 |
|      |          |           | 中央        | 字久野、島田、正直の大会である |
| 島田   | (島田)     | (島田)      | 島田        |                 |
| 桂    | (桂)      | (桂)       | 桂         |                 |
|      |          |           | 磐石        |                 |
| 井ノ岡  | (井ノ岡)    | (井ノ岡)     | 井ノ岡       |                 |
| 熊原   | (熊原)     | (熊原)      | 熊原        |                 |

〔小坂〕「熊田村」「熊田村」「小坂町」の合併で成立  
 1) 表中「1」で示した行政区は以て区長の住所より筆者が推定したものである。  
 2) 同時に同じ大字から複数の区長が選ばれている場合、のちの行政区の区割りから判断し、状況で示した。  
 3) いづれかの大字にまたがる行政区については、もっともかかわりが深いと考えられる大字の欄に示した。

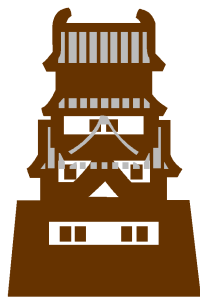
「中央」行政区には、備考欄に「久野・島田・正直の大会」(共同で運営・管理する地域)とあった。

その後、昭和32年に阿見町福田の一部の向原開拓(長野県の開拓団が入植、切り開いた土地)が、牛久市に編入して「向原」行政区ができた。住所は福田になっている。「小坂団地」行政区は、昭和45年に新興住宅団地として生まれた。

特色のある行政区の行事としては、小坂行政区の「ソフトボール大会」があげられる。今年(2022年)で第70回の記念大会が行われた。実に約80年続いているんだ。びっくり! また、井ノ岡行政区では、約100年続いた「石尊相撲」が行われていた。



「1548 ねんには、<sup>と き し</sup>土岐氏のたすけを  
うけた<sup>とうじよう し</sup>東条氏（<sup>いずみじようしゅ</sup>泉城主）が、おさ  
かじょうを



わー

わー



せめてきたんだ。おさかじょうしゅ<sup>おか み びつちゆうのかみ</sup>岡見備中守は、  
<sup>お だ うじはる</sup>小田氏治のたすけをかりて

がちがち  
がちがち

まけないぞー」

「それいけー」

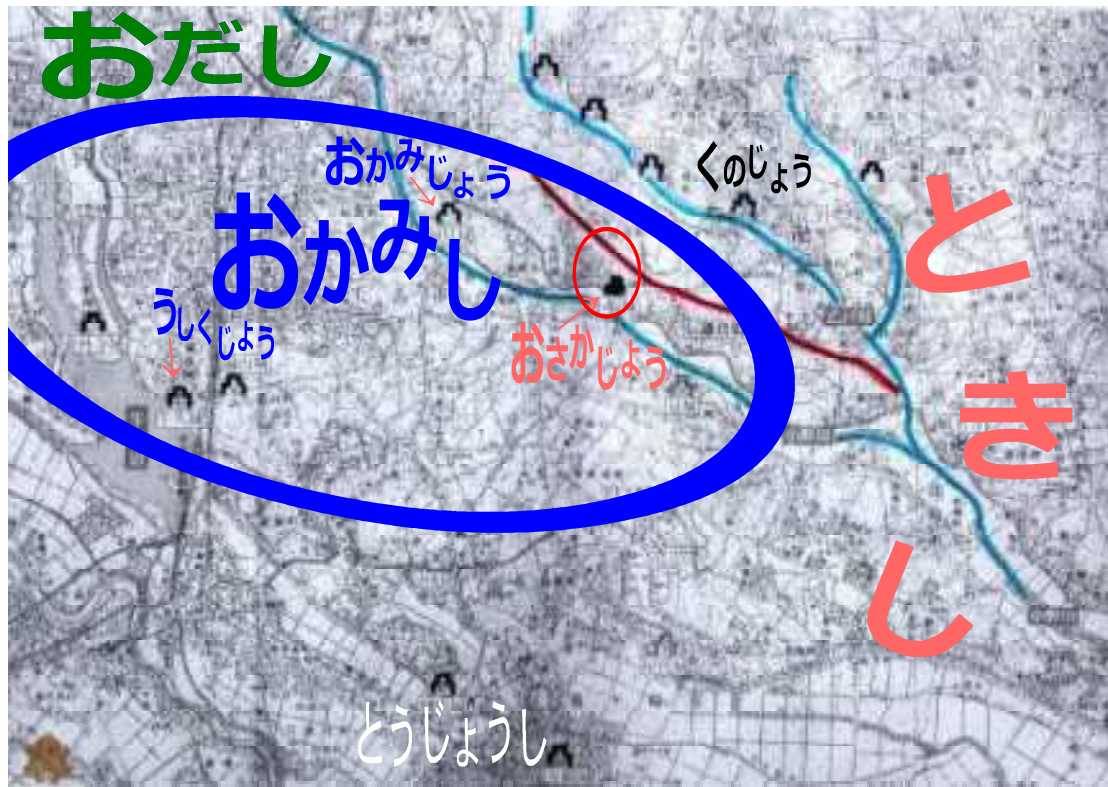
どっちが、かったとおもう・・・？

<sup>おか み びつちゆうのかみ</sup>岡見備中守と<sup>お だ うじはる</sup>小田氏治が、

かったんだ！

「新編常陸国誌より」





あ！そうそう。あのゆうめいな<sup>うえすぎけんしん</sup>上杉謙信<sup>とうじょう</sup>も登場。謙信<sup>けんしん</sup>は、関東管領（ばくふ なんばー2の ようしょく）として、1560ねんころ（<sup>かすがやま</sup>春日山を8千人で出て、<sup>おだわら</sup>小田原には11万3千人になって攻めた。<sup>せ</sup>ほぼ関東を統一）は、このあたりをまとめていたんだ。

そして、<sup>のぐちしきぶ</sup>野口式部（<sup>くのじょう</sup>久野城）と<sup>おだうじはる</sup>小田氏治・<sup>おかみびつ</sup>岡見備中守（<sup>おさかじょう</sup>小坂城）の3にんの殿様は、<sup>とのさま</sup>上杉謙信・<sup>うえすぎけんしん</sup>北条氏・<sup>さたけし</sup>佐竹氏といった強敵にはさまれながらも、<sup>きょうてき</sup>必死にいたきた武将だったことが、よくわかった。

<sup>くのじょう</sup>久野城には<sup>れきだいじょうしゅ</sup>歴代城主である<sup>のぐちいちぞく</sup>野口一族の墓所がある。<sup>おだうじはる</sup>小田氏治は、「<sup>ひたちふしちよう</sup>常陸の不死鳥」と評され、<sup>ひよう</sup>愛される一面もあった）

# 1・17・23・24・32号「りんご」(長沼りんご園)

牛<sup>うし</sup>久<sup>く</sup>でもできたりんご<sup>りんご</sup>作<sup>つく</sup>りの秘<sup>ひ</sup>密<sup>みつ</sup> ①夏<sup>なつ</sup>  
にも、木<sup>き</sup>の剪<sup>せん</sup>定<sup>てい</sup> (枝<sup>えだ</sup>を切<sup>き</sup>って、風<sup>かぜ</sup>とおしを  
よくしたり、形<sup>かたち</sup>をよくしたりすること) を  
すること。②枝<sup>えだ</sup>を平<sup>たい</sup>らにのばすこと。③も  
ちろん、病<sup>びよう</sup>気<sup>き</sup>や虫<sup>むし</sup>に食<sup>た</sup>べられないよう消<sup>しょう</sup>  
毒<sup>どく</sup>することも大切<sup>たいせつ</sup>だ。



夏の剪定

りんご<sup>りんご</sup>を作<sup>つく</sup>り始<sup>はじ</sup>めて、2～3年<sup>ねん</sup>がたつた夏<sup>なつ</sup>のこと。りんごの木<sup>こ</sup>  
の葉<sup>は</sup>が、黄<sup>きいろ</sup>色<sup>いろ</sup>く<sup>く</sup>な<sup>な</sup>って、おちてしまった。どうしよう？ りんご作<sup>つく</sup>  
りの産<sup>さん</sup>地<sup>ち</sup> (青<sup>あお</sup>森<sup>もり</sup>や長<sup>なが</sup>野<sup>の</sup>等<sup>とう</sup>) でもこんな病<sup>びよう</sup>気<sup>き</sup>はなかつた。そして  
や<sup>びよう</sup>っ<sup>き</sup>とわかつたんだ。この病<sup>びよう</sup>気<sup>き</sup>が、暖<sup>あた</sup>か  
い所<sup>ところ</sup>で、りんご<sup>りんご</sup>を作<sup>つく</sup>るときにでる病<sup>びよう</sup>気<sup>き</sup>だ  
ということが分<sup>わ</sup>か<sup>く</sup>つて葉<sup>は</sup>を教<sup>くすり</sup>えてもら  
った。それから、すうねん<sup>ねん</sup>がたつて、あま<sup>あま</sup>く  
て、おい<sup>おい</sup>しいりんご<sup>りんご</sup>が、で<sup>で</sup>きるよ<sup>よう</sup>にな<sup>な</sup>つ  
た。



りんご<sup>りんご</sup>の花<sup>はな</sup>を初<sup>はじ</sup>めて見<sup>み</sup>た。  
花<sup>はな</sup>が咲<sup>さ</sup>き終<sup>お</sup>わると摘<sup>てき</sup>果<sup>か</sup> (果<sup>か</sup>実<sup>じつ</sup>が<sup>か</sup>つき<sup>か</sup>すぎ<sup>か</sup>た場<sup>ば</sup>合<sup>あ</sup>  
に余<sup>よ</sup>分<sup>ぶん</sup>なものを幼<sup>お</sup>さないうち<sup>うち</sup>に摘<sup>と</sup>み取<sup>と</sup>ること) を行<sup>おこな</sup>うん  
だ。果<sup>か</sup>実<sup>じつ</sup>を<sup>か</sup>ひ<sup>ひ</sup>と<sup>と</sup>つ<sup>と</sup>だ<sup>だ</sup>け<sup>け</sup>のこ<sup>こ</sup>した



りんご<sup>りんご</sup>狩<sup>が</sup>り  
りんご狩<sup>が</sup>りの風<sup>ふう</sup>景<sup>けい</sup>

りんご<sup>りんご</sup>狩<sup>が</sup>りの種<sup>しゅ</sup>類<sup>るい</sup>と時<sup>じ</sup>期<sup>き</sup>



すごい!  
いっぱい<sup>いっぱい</sup>な<sup>な</sup>っている

| 品種          | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-------------|----|----|-----|-----|-----|
| さんざ         | →  |    |     |     |     |
| 津軽(つがる)     | →  |    |     |     |     |
| フリーストリー     | →  |    |     |     |     |
| シナ/ドルチェ     | →  |    |     |     |     |
| 黄玉(きおうぎゆ)   |    | →  | →   | →   | →   |
| 紅玉(こうぎよく)   |    | →  | →   | →   | →   |
| 紅娘(こうにやう)   |    | →  | →   | →   | →   |
| 翠生(すいせい)    |    | →  | →   | →   | →   |
| 福寿(ふくじう)    |    | →  | →   | →   | →   |
| アルファ乙女      |    | →  | →   | →   | →   |
| シナ/ゴールド     |    | →  | →   | →   | →   |
| 高糖(こうとう)    |    | →  | →   | →   | →   |
| はるか         |    | →  | →   | →   | →   |
| 赤月(あかつ)     |    | →  | →   | →   | →   |
| あまの雪(あまのゆき) |    | →  | →   | →   | →   |
| あじ          |    | →  | →   | →   | →   |

※開花時期により収穫時期が前後するので、表はあくまで目安になります。  
赤矢印は収穫量が少ないため、予定より早く販売終了する可能性があります。

# 12号 「小野川」

鉄道が、発達する前は、水運の便がよい所が、栄えた。

※ したのひょうは、はこぶちからくらべ

江戸時代の水運

| 品名        | 200~1200石   |
|-----------|-------------|
| 利根川高瀬船    | 200~1200石   |
| 下船        | 500~580石    |
| 伝馬造茶船・小輪船 | 25石         |
| 馬         | 5石 (1馬) 25石 |
| 人         | 1石          |

小野川は、幅が狭く浅い川だったので、工夫を凝らした舟を作ろうと頑張った。

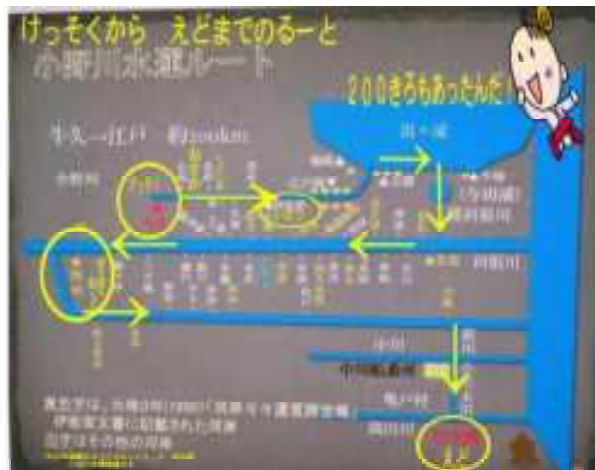
こうして、やっとできたのが・・・

「伝馬造茶船

(でんまつくりちやぶね)」だ。



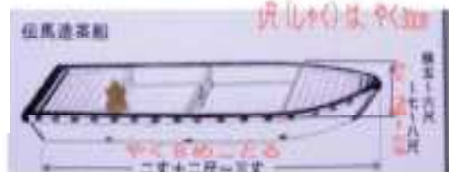
驚いたことに、小野川は、江戸まで繋がっていたんだ。



このふねに のせてはこぶと、ひとやうまで、はこぶより、はるかに たくさんのこめをはこぶことができたんだ。

びっくり!

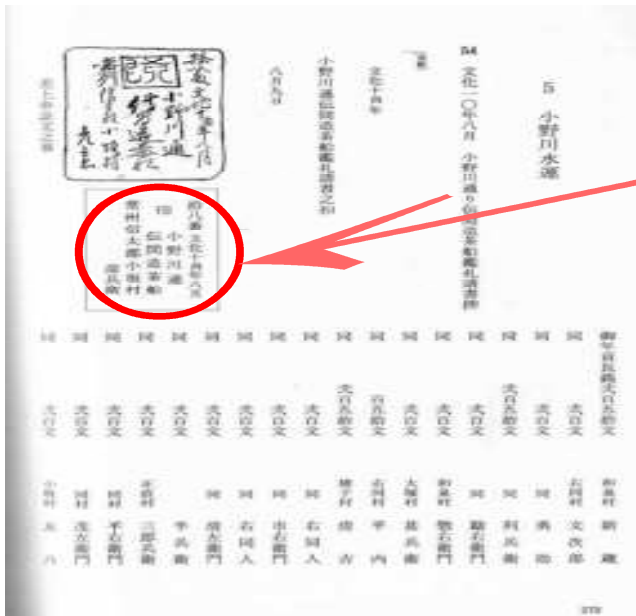
でんまつくりちやぶね



文化14年は、1814年  
おさかそん ひこべえ  
小坂村 彦兵衛

そうか!

だから、関宿藩に年貢を運ぶことができたんだ



10・16号

「関宿領代官所」(久野町)



せきやどりようだいかんしよ (おおしょうや)



一番奥が殿様の部屋

家来の部屋

家来の部屋

殿様の部屋

久世広周が、ちいさいときに  
うえた木だ。  
広周は、老中として、幕末  
に安藤信正と協力して、徳  
川家茂のつまに皇女和宮を迎  
えることに力を注いだ人なん  
だ。

びっくり!



せきやどりようだいかんしよ

こんなものもあったよ！  
寛文4年と書いてあるよ。



## 6号 「ヤマイチ味噌」

おいしい味噌を造っているのが、ヤマイチ味噌さん。作り方に5つの秘密があった。

- その1 木桶を使う。  
その2 米を使う、米みそ。麦を使う、麦みそ。こうじとからんで、味がちがうんだ。  
その3 赤つぶと 白こし。



やっぱり味がちがうんだ。  
その4 地元のかっぱ米を使ったなまみそも、あるんだって。

その5 ねかせた時間でも、味と色が、変わるんだ。

でも、こうじと お米・麦などを組み合わせて、自分ごのみのおいしい味噌をつくって、食べるのが、一番とか。その他、体験教室や工夫を凝らしたあま酒アイスやソフトクリームなどがあるよ。



5・25号 「古民家カフェ」



はしごをのぼって、  
2かいへいくと……。あ！秘密基地だ。



「うこっけいが、たぬきや  
いのししにたべられない  
の？」ふしぎにおもってき  
くと「うまややぎがいます、おそってこないんだよ」  
だから、とりごやもかんたんなものでもいいんだ。

ビオトープもあるよ。  
やぎもいるよ。





かえりにビオトープのまえをとおるとあぶやかなど  
が、いなーい。どうしてかというところ・・・ビオトープ  
うまれのとんぼがあぶやかなどをたべてくれるという。  
「うまのうんちのにおいもしないわ」  
つちのなかのいきもの（びせいぶつ）が、しよりして  
くれているんだよ」

またまた、びっくり！

つくった飯島<sup>いいじま</sup>さんの願<sup>ねが</sup>いは、  
「たくさん<sup>ひと</sup>の人が、カフェでかたりあったり、馬<sup>うま</sup>やや  
ぎ<sup>どうぶつ</sup>などの動物や自然<sup>しぜん</sup>とふれあったりできる そんなばし  
よにしたいんですよ」という。

ごう  
9号

さくら めいしよ おくばら  
「桜の名所」(奥原)



やく2キロ  
つづいていた

びっくら!



## 5 お 終わりに

親<sup>おや</sup>から子<sup>こ</sup>へ子<sup>こ</sup>から孫<sup>まご</sup>へ失<sup>うしな</sup>われつつある奥<sup>おく</sup>野<sup>の</sup>地<sup>ち</sup>区<sup>かんが</sup>の宝<sup>たから</sup>物<sup>もの</sup>を語<sup>かた</sup>り継<sup>つ</sup>げるよ<sup>よ</sup>うな絵<sup>え</sup>本<sup>ほん</sup>にしたいと考<sup>かんが</sup>えて創<sup>つく</sup>りました。

と いうこと<sup>よ</sup>で読<sup>よ</sup>み聞<sup>き</sup>かせは、終<sup>お</sup>わりまし<sup>た</sup>。

わし<sup>つ</sup>を<sup>を</sup>で<sup>を</sup>よう<sup>を</sup>とし<sup>を</sup>たら、  
こ<sup>ん</sup>な①し<sup>や</sup>し<sup>ん</sup>や②し<sup>り</sup>  
よ<sup>う</sup>を<sup>は</sup>っ<sup>け</sup>ん！

①ご<sup>ん</sup>ご<sup>ろ</sup>う<sup>が</sup>、み<sup>に</sup>つ<sup>け</sup>て<sup>い</sup>たよ<sup>ろ</sup>い<sup>か</sup>ぶ<sup>と</sup>のし<sup>や</sup>し<sup>ん</sup>だ<sup>と</sup>い<sup>う</sup>。

び<sup>っ</sup>く<sup>り</sup>！

②う<sup>し</sup>く<sup>で</sup>び<sup>っ</sup>く<sup>り</sup>！シ<sup>リ</sup>ーズ<sup>が</sup>ず<sup>ら</sup>り。

び<sup>っ</sup>く<sup>り</sup>！



な<sup>っ</sup>ち<sup>ゃ</sup>ん  
「よ<sup>か</sup>った、よ<sup>か</sup>った！ らい  
ね<sup>ん</sup>も ま<sup>た</sup>こ  
よ<sup>う</sup>」  
と か<sup>え</sup>っ<sup>て</sup>い<sup>っ</sup>た。

こうして、ほかのもよおしも  
すべて終わった。

たくさんのちいきのひとが、  
たのしくつどったおくのふれ  
あいまつりとなった。

「あーたのしかった」  
と なぜなぜくん。スキップしながらもりにかえ  
っていった。



またね